

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)X(株)バイタルネット伊勢原物流センター	階数	地上2階
建設地	伊勢原市上粕屋字一ノ郷下2569-1、2570-2	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし、法22条区域	平均居住人員	45 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2024年11月11日
敷地面積	8,569 m ²	作成者	(株)小島組
建築面積	4,072 m ²	確認日	2024年11月11日
延床面積	7,943 m ²	確認者	(株)小島組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.0 ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★	標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質			
Q1 室内環境 Q1のスコア= 0.0	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.6	Q のスコア= 2.9
LR 環境負荷低減性			
LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.7	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2	LR のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 当該地は、新東名高速道路の伊勢原大山インターチェンジから直線距離約600mに位置する市街化調整区域であり、工場単一用途(倉庫)の建築物を鉄骨造、2階建てにて計画した。		その他 開発区域面積の20%以上の緑地を確保し、外周緑地の他、まとまった緑地エリアも設けることで、周辺環境と調和が図れるように配慮した。
Q1 室内環境 特になし。	Q2 サービス性能 階高は3.9m以上。 壁長さ比率は0.1以上0.3未満。 倉庫部分床荷重は4,500N/m²以上。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上材等が容易に分解可能とすることで、資材の有効活用に繋がるように配慮した。	LR3 敷地外環境 LCCO₂排出率=83%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される